

STAGE+を楽しむ(163)(HP 収載)

—ペルティコススキのモーツァルト—

1. 始めに

前報(162)に引き続き、STAGE+のペルティコススキのモーツァルトの3大交響曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ペルティコススキのモーツァルトの3大交響曲を選びました。

ペルティコススキが紡ぎ出すモーツァルトの3大交響曲

ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

収録日: 2023年2月7日

2022年初め、プレーメンのドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者に就任したフィンランド人指揮者タルモ・ペルティコススキ。DGと専属契約を結んだことでも話題です。本映像は彼の指揮の下で演奏されるモーツァルトの3大交響曲をお楽しみ頂けます。レコーディング・セッションの一環として、少人数の招待客を前に1回の通しで撮影されたこの演奏は、指揮者とオーケストラによる圧倒的な作品に対する集中力を感じて頂くことができます。“一度きり”だからこそそのインスピレーション溢れるモーツァルトをご堪能下さい。

演奏:

ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

指揮:

タルモ・ペルティコススキ

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

交響曲第35番ニ長調 K. 385 《ハフナー》

交響曲第40番ト短調 K. 550

交響曲第36番ハ長調 K. 425 《リンツ》



さらに、同じマスターからと思われるアルバムの配信がありましたのでこれも聴いてみました。



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpLを接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーターに対するCDクリーナーの処理を行っています。今回も、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンブ端子を装着しています。さらに今回も、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、Brooklyn DAC+と仮想アース Crystal Eとの接続と DA-3000 と自作仮想アースへのアースアキュライザーの導入とAVドーナツツの使用などを行っています。

この演奏は[前報\(84\)](#)で2023年10月22日9:00からの再配信を既に試聴していま

す。今回、アルバムの配信に合わせて、アーカイブを試聴し、その後の配信音源への対策を確認します。

収録の様様や演奏については前報(84)で報告したとおりです。前報(84)では見逃していたのですが、ホルンやトランペットやフルートは古楽器です。

上記の対策の効果で、若いペルティコススキの小気味よい指揮の下、切れ味よくモーツァルトらしい美しい旋律と和音の展開で進行します。

アルバムの方は、ライブ収録と収録内容は同じで、音質もライブ収録の配信に近いものです。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの投入とそれに伴うアースラインの再構成、さらにはAV ドーナッツなどの結果、切れ味よくモーツァルトらしい美しい旋律と和音の展開が聴けました。

以上